

＜地区集会での主な質疑応答・意見等＞

■平成26年度まちづくりの組織と活動計画について■

○今年度は地区集会を3回予定している意味合いは、(協議会)昨年度来検討した計画を今回の集会でご説明しました。今後、実施状況を9月の集会で中間報告し、2月の集会では活動結果と、できたことできなかったこと、来年に回すことについても報告をしていくという形を考えています。

○活動を行うための市からの予算は足りているのか。(事務局)計画に合わせた予算を計上し、例年確保してきました。今年も活動に必要な予算はあり、来年度に向けた検討はこれから。

○集会に出て、地域の人も問題意識を持つ必要があると感じる。地域ボランティアでも若い人たちの力、中高生等の参加が必要。○まちかどミニベンチは、高齢者の意見も参考にして有効利用を。○緑と花いっぱい推進活動事業もとてもいい事業である。○郷土文化の魅力を伝えていくこともすごく大事なことだ。○プレジャーボートの現状と対策について。

(協議会)ボートについては早期対策を求めてきて、県は平成27年3月31日をもって撤去する方針を出しています。現在、江ノ電の橋から上流は全部撤去され、対策が進むよう協議会としても市や県へ働きかけをしていきたいと思います。

(事務局)活動や地域の情報について、皆さんへの提供・共有を進めていきたい。また、まちづくり事業でもそのしくみを検討中です。

○良い環境を持つことは地域にとって財産である。よそから来る人にとっても居心地のいい環境を住民として全体的によくする方向でないか、子どもたちにつながっていないか。○境川と西方公園の間にある県のあずまやが取り壊された。協議会から同じものを持ってくれればつくるという話を県から聞いているので、意識を持って活動していただきたい。

(協議会)ご指摘のような目線で考えながら活動していますし、地域の実情により取り組み方も違いますので、進めるに当たっては、皆さん方からご意見を聞いたり、アイデアを伺ったりしながら進めていきたいと考えています。

■片瀬地区地域団体の活動について■

○市駅伝競走大会へ片瀬地区もチーム編成して出る考えはないか。(スポーツの会)平成25年度で市民総合体育大会が廃止され、オープン競技として今年を進める予定です。競技内容が決まりましたら、ぜひ今年には出る方向で検討したいと思っています。

○以前、痴漢が出たときに携帯ヘメールをいただくシステムがあったが、最近痴漢が近くへあらわれたときは私の携帯には連絡が入らなかった。抑止にもなるのでぜひ再構築を。

(事務局)先日のは、スポッポットの犯行で学校からの情報提供ということで、すぐに広報できる状況ではなく、情報を各団体さんに連絡・共有して、気をつけてパトロールするというような形で活動していただきました。

(青少年支援フォーラム)何年前かに片瀬地区の情報だけを発信するシステムをつくったようですが、うまく引き継がれていないようです。連絡網を再度確認して、つくっていく方向で検討していきます。

○身近に生活等で困っている方がいて、誰にも言えずに悩んでいる。おせっかいおばさん・おじさんがもっと出てきていいのではないか。身近な人とのコミュニケーションは本当に基本で大事。(事務局)介護サービスや制度にない中では生活がしにくくなっていることもたくさん出てきています。地域課題の中にもあるように、どうみんな支えていくのかというのが、これからは大きなテーマになってきます。藤沢で一番高齢化が進んでいる片瀬の地域だからこそ、ひとつのモデルになれるよう一緒に考えていければと思います。

■全体を通しての意見■

○参加者が非常に少なく、顔なじみで年齢も若くない。今後、この会をどうしたらいいのかは大きな問題。ひとつの課題について、いろいろな見方で話し合いをし、何とかこの会の参加者をふやす方を協議会としてもいい知恵があったら、ぜひ絞っていただければ。(事務局)確かに大きな課題です。今日は事業をお示しをしましたが、課題を絞ってみんなで話し合いをするワーキング的な掘り下げや、この課題だったら参加したいというインセンティブをどうつっていくのか工夫が必要です。まずは、場のつくり方、課題の設定の仕方、議論の仕方というようなことを検討していきますので、ぜひいろいろな知恵をお寄せください。

○地域団体は役員が多過ぎる。組織をスリム化し、実践でき、結果に結びつけられることを第一に。できる人がトッパーリーダーになり、予算もかけ、若い人や女性に任せるとい姿勢がないといけない。(事務局)地域活動に参加されない方が多い中、少しでも活動に参加し、役員を担っていただくことの積み重ねはとても大切なことです。とてもすばらしい活動をされている方に対して敬意をあらわし、笑顔でみんなでやりましょうということを基本にしながら、そして、今ご意見のあった工夫をして、まちづくりを進めていけたらいいと思います。

○参加者は、少ないが集会に出てこようという少数精鋭。難しそうだなと思えることもあるが、生活していくには地域をどうしていくかはとても大事なこと。今度参加するときは、1人が1人を誘ってくる努力も必要。中身も工夫され、ワークショップがあってもいい。

＜寄せられたご意見のその後の対応経過について＞

○便利な交通体系のあり方として、江ノ電の終電時刻を延長できないか(平成24年11月地区集会)
→平成25年度に市から江ノ電へ要望した結果、最終電車から始発電車の間で実施する鉄道保守に係る夜間作業において、急曲線が多くあることから大型保守機器等の導入が難しく、人力による作業のため作業時間を確保する必要があることから、現状では最終電車運転時刻の繰り下げは難しいとの回答でした。

○公民館活用として、片瀬しおさいセンターのニーズは非常に高いので、カーテンや畳のメンテナンスを(平成25年7月・11月地区集会)

→カーテンは平成25年7月に取り替え(まちづくり通信第10号で報済)、畳は平成26年3月に補修いたしました。



片瀬しおさいセンターの畳

平成25年度まちづくり事業費執行状況(決算見込み)

No.	事業名	予算額	執行額	執行率	No.	事業名	予算額	執行額	執行率
1	人材・情報バンクセンター事業	1,520,000	1,520,000	100.0%	9	緑と花いっぱい推進活動事業	47,000	46,965	99.9%
2	ボランティアセンター事業	(別途補助金で運営)			10	バリアフリーの推進事業	0	0	
3	まちかど相談事業	207,000	196,000	94.7%	11	まちかどミニベンチ設置事業	50,000	49,999	99.9%
4	青少年居場所事業	408,000	408,000	100.0%	12	民俗文化財等継承事業	73,000	20,000	27.4%
5	青少年ボランティア活動支援事業	0	0		13	江の島道の整備事業	1,344,000	1,299,900	96.7%
6	公民館活用事業	0	0		14	災害等危険箇所把握事業	1,169,000	1,118,250	95.7%
7	生活道路の安全向上対策事業	1,022,000	882,000	86.3%	15	広報・IT事業	(会議費で広報紙発行等)		
8	環境浄化事業	55,000	0	0.0%		計	5,895,000	5,541,114	94.0%

あいさつで
みんなのえがお
きらきらに

平成24年度あいさつ運動推進標語
小学生の部最優秀賞
福岡俊太さん

片瀬・江の島まちづくり協議会

まちづくり通信

第十二号
発行日 2014年(平成26年)7月10日
発行 片瀬・江の島まちづくり協議会
発行人 長谷川 紀夫
事務所 片瀬市民センター内
0466-27-2711 FAX0466-25-8907
Kata-c@city.fujisawa.kanagawa.jp
片瀬地区ポータルサイト
http://fujisawa-katase.ecom-plat.jp

TOPIC1

平成26年度第1回 地区集会



まちづくり計画について 意見交換をいたしました

2014年5月31日(土)午前10時から委員含む47人の参加のもと、片瀬・江の島まちづくり協議会(片瀬地区郷土づくり推進会議)の主催により、平成26年度第1回地区集会を開催しました。当日はお忙しい中をご参加いただき、ありがとうございました。

今回の議題は、最初に片瀬・江の島まちづくり協議会(以下「協議会」といいます)の今年度の取り組みについての説明と意見交換を行い、次に地域団体の活動についてご紹介し、様々な分野の課題を取り扱う地域全体の動きを知っていただく機会といたしました。

■まちづくりを進める組織について

協議会の役割は、①地域住民や地域団体などの情報交換の場、②地域の課題把握とその解決の方向性の検討、③地域の課題解決に関し、市への提案や意見・要望の提出、施策の提言、④ひとつの地域団体では解決できない課題に対する事業の企画と実施、⑤既存の地域団体で扱っていない課題に対する事業の企画と実施、⑥課題解決の方向を検討した結果、市や協議会が必要とする事項の企画・実施などです。

協議会は、委員26名(地域団体等選出16名、公募10名)と協力員制度(関心のあるまちづくり事業の企画・検討や実践活動に参加していただける形)により運営をします。協力員は、まちづくり事業担当部会の一員として事業の充実と円滑な推進を担う大切な役割で、地域の皆さんによりまちづくりを実践する貴重なチャネル(参加手段)になるものと期待をしています。

組織としては、人材・情報バンクセンター運営委員会、まちづくり推進部会、地域福祉推進部会、公民館活用部会、青少年健全育成部会、郷土文化推進部会、地域広報部会の7つの部会で進め、また、協議会が把握している地域課題については、必要に応じてワーキングを随時設置し検討していきます。

■まちづくり活動計画について

協議会は、地区集会を3回計画し、1回目の本日は活動計画の周知を行い、2回目の9月21日は進捗状況の中間報告を、最後の2月21日は1年の総括と次年度に向けた活動計画への反映を行い、毎回、皆さんからの課題意識や要望を集約し整理していきます。

また、協議会は、ひとつの地域団体だけでは困難な活動や地域団体では扱っていない課題について、13のまちづくり事業*1として進めていきます。
(*1 人材・情報バンクセンター、ボランティアセンター事業、まちかど相談事業、青少年居場所事業、小学生夏休みふれあい事業、青少年ボランティア活動支援事業、公民館活用事業、まちかどミニベンチ設置事業、生活道路の安全向上対策事業、緑と花いっぱい推進活動事業、民俗文化財等継承事業、江の島道の整備事業、地域広報事業。各事業の内容は、まちづくり通信第10号及び第11号をご参照ください)

さらに、協議会の認識課題のうち、福祉分野については地域福祉推進部会が中心に整理し、ほかの市民の家の利便性の向上、地域の居場所あり方検討、廃屋への対応、ごみの持ち帰り等の課題については、課題別検討会を立ち上げていきます。この検討会については、まず、協議会が進め方について議論し、具体的な検討には皆さんにも参加していただく機会を持っていきたいと考えていますので、今後とも協議会活動へのご理解・ご協力をお願いいたします。



集会の議事録や資料は、片瀬市民センターにおいて配布しています。片瀬地区ポータルサイトや市ホームページからもダウンロードができます。



片瀬地区地域団体の活動

地区集会で使用したスライドを編集して掲載いたしました。(順不同)
注) 各団体の活動の一部をご紹介します。詳細は市民センターへお問い合わせください。

社会福祉協議会

地区敬老会

お祝いの唄やお言葉と元気をいただきました♪



めざせ!元気シニア!

大声を出して体を動かす大切さを実感♪



防犯協会

子ども110番の普及

～ふくろうが見守る安全な街並みを～

片瀬地区「子ども110番」協力者募集!!

オリジナルのチラシを作成♪

【犯罪の抑止】も最大の目的としています。犯罪の機会を減らさない、未然に防ぐこと第一とし、各家庭や商店など、【地域全体が常に防犯に対する備えがある】という心をもたせ、【空き巣対策】に励みます。【多くの方にご参加ください】子どもたちを犯罪に巻き込まない地域づくりを目指しています。ご協力を願っています。

安全・安心ステーションでの見守り



自転車盗難防止などの防犯キャンペーン

片瀬-市民スポーツの会

ソフトボール大会



かっぱまつり



レクリエーション大会



交通安全対策協議会

交通街頭指導



交通安全対策週間 自転車事故防止キャンペーン



生活環境協議会

海岸クリーン活動



らくがきけし



さかなの放流

子ども会連絡会

子ども天国

子どもたちが主役です♪



花壇づくり

民生委員児童委員協議会

他地区との交歓民児協



つまでもお元気で

老人クラブ等へのアピール

ふれあいまつりへ出店

青少年育成協力会

夏期海岸夜間パトロール



警察官も同行し、安心してパトロール!

1000人分のカレーづくり♪大鍋で力をあわせて調理します

テークアウト 名物カレー

自主防災協議会

地区総合防災訓練



各避難施設の運営体制づくり

地区新年賀詞交歓会の開催



行政・関係機関への要望・提案

自治町内会連絡協議会

自治町内会長視察研修会



地域の住民・各団体の交流を進めます!

地区新年賀詞交歓会の開催

音楽芸能部会春うららコンサート in 片瀬

スポーツレクリエーション部会発表

青少年支援フォーラム

地域パトロール



小学校支援育成事業 料理教室

中学校支援ふれあい学習会 わらじづくり

江の島振興連絡協議会

観光地としての課題対策

駐車場を2階建てに建て替えました!

防犯カメラを全島に設置しました!

津波避難路の設置

歩け歩け運動

健康のため、歩きましょう!



おたのしみの懇親会!

民生委員との交流・親睦も深めました!



老人クラブ連合会

公民館サークル連絡会

商店会

地域の活性化・市民の消費生活の向上

ドラゴンボートレースなどイベントの実施や協力も!